

筋肉	作用	起始部 & 付着点	支配神経
<b>Buccinator</b> 頬筋	①頬壁を支え、これを歯列に押し付ける ②空気を急に(or強く)吹き出すときに働く	起始部: 上顎骨歯槽突起の外側面、下顎骨頬骨稜及び翼突下顎縫線に付着 付着点: 口角に移行。口輪筋の線維	顔面神経
<b>Platysma</b> 広頸筋	頸部や胸部に皺を作る。 口角・口唇を下方に引く	起始部: 肩峰から第二肋骨前端にいたる線の大胸筋と三角筋を追う皮下組織と胸筋筋膜 付着点: 下顎下縁・口角・咬筋筋膜・笑筋・口角下制筋・口唇下制筋に付着	
<b>Occipitalis muscle</b> 後頭筋 (こうとうきん)	眉を上げる 加えて、帽状腱膜を皮膚とともに後方に引く働くと、額の皮膚を滑らかにする働きがあります。	起始部: ・後頭骨の最上項線 ・側頭骨の乳様突起 付着点: 帽状腱膜	
<b>Sternocleido mastoid</b> 胸鎖乳突筋	頭部の伸展、頸部の屈曲、側屈、体側回旋	起始部: 胸骨頭(胸骨柄の上縁)・鎖骨頭(鎖骨内方の1/3)に付着 付着点: 側頭骨乳様突起・後頭骨上項線に付着	副神経外枝と頸神経叢筋枝C2,C3
<b>Mylohyoid muscle</b> 顎舌骨筋	舌骨の挙上 下顎骨の後方移動 開口補助	起始部: 下顎骨の顎舌骨筋線 付着点: 舌骨体、顎舌骨筋縫線	三叉神経下顎神経(V3)の枝
<b>Thyroihioid</b> 甲状舌骨筋	舌骨の引き下げ。甲状軟骨を引き上げる。 嚥下時に喉頭を挙上する。	起始部: 胸骨甲状筋の継続として、甲状軟骨 付着点: 舌骨体	舌下神経の甲状舌骨筋枝(C1、C2)
<b>Omohyoid</b> 肩甲舌骨筋	喉頭と舌骨を押し下げる。舌骨を固定する。 中間腱が頸筋膜を緊張させ、内頸静脈を開く。	起始部: 肩甲骨の上縁の下腹で、烏口突起のすぐ内側位置 付着点: 舌骨帯と大角の後面	舌下神経の甲状舌骨筋枝(C1、C2)
<b>Digastric muscle</b> 顎二腹筋(前)	前腹はオトガイ舌骨筋と共に舌骨を前上方(舌骨の挙上)	起始部: 下顎骨二腹筋窩 付着点: 舌骨中間腱	前: 三叉神経下顎枝 後: 顔面神経
<b>Digastric muscle</b> 顎二腹筋(後)	茎突舌骨筋と共に後上方へ挙上し、舌骨固定時には下顎骨を後下方に引く(下顎骨の引き下げ)	起始部: 側頭骨乳様突起 付着点: 舌骨中間腱	
<b>Geniohyoid muscle</b> オトガイ舌骨筋	舌骨の挙上 下顎の下制 開口補助	起始部: 下顎骨正中部の後面にあるオトガイ棘から起こり、顎舌骨筋の上を左右並んで後ろへ向かいます 付着点: 舌骨の前面	舌骨神経のオトガイ舌骨筋枝(C1,C2)